

<プレス・リリース>

プレス担当:

塩原 邦子 (kshiobara@japansociety.org / 212-715-1249)

シャノン・ジャウエット (sjowett@japansociety.org / 212-715-1205)

## ジャパン・ソサエティー(JS) 講演会

### 「Tokyo Visualist」

*Tokyo Visualist: Three Views*

3月2日(火) 午後6時半～8時45分 (受付開始午後6時)

JSは3月2日(火)、講演会「Tokyo Visualist」を開催いたします。

『Tokyo Visualist』の名で昨年10月末に日本で出版された本書(河出書房新社)は、「現在の日本の活気に満ちたビジュアル文化を広く世界に紹介したい」という願いから生まれた同名のプロジェクトにより誕生しました。常に日常生活と結びついている、という日本のアートやデザインは、古くは鎖国を解いた1854年、日本の芸術工芸が訪れた西洋人たちを深く印象付けたことから始まり、結果欧米の芸術家やデザイナーの間に知れ渡っていきました。今日においても、日本を拠点に活動するアーティストやデザイナーの才能やヴィジョンは、本国はもちろんのこと、訪れる人々に大きな刺激を与えています。

本プログラムでは、『Tokyo Visualist』で紹介されているアーティストの中から名和晃平氏、小山泰介氏、そして編集を手がけた山下悟氏を招き、今日の日本で活躍するクリエイターの多種多様な表現方法や創造性について語り、日本の視覚文化の現状、将来の展望について分析します。

司会はアニタ・グリニコフスカ氏 (New York Art Beat 共同創設者)

\* リスティング・インフォメーション \*

日時: 3月2日(火) 午後6時半～8時45分

入場料: 一般 11ドル 会員 7ドル

会場: JS (333 E. 47<sup>th</sup> St., between 1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> Avenues)

一般参加お申し込み: 212-715-1258 (月曜～金曜 午前11時～午後6時/土日 午前11時～午後5時)

尚、チケットは JS ウェブサイトでもお求めになれます。詳しくは [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org) をご覧ください。

スケジュール:

受付開始 午後6時～

講演 午後6時半～

Q&A 午後7時45分～

レセプション 午後8時～8時45分

## 参加者プロフィール

### 【小山泰介】

1978年、東京生まれ。2008年に写真集『entropix』を刊行。09年、東京の G/P gallery、NADiff Gallery、スパイラルガーデンにて個展「entropix」を開催。「Paris Photo 2008」に続き、2009年9月にはオランダの現代写真雑誌『Foam magazine』の新人特集号「TalentIssue」に掲載され、11月には昨年に引き続き『Paris Photo 2009』に出展した。刻々と変化していく都市を生物や自然と同じような有機体として捉え、都市の新陳代謝のような人工物の表面や状態、現象の細部を撮影し、有機的で抽象度の高い写真作品を制作している。

### 【名和晃平】

1975年大阪府生まれ。京都市立芸術大学美術学部在学中 Royal College of Art へ交換留学。2003年、京都市立芸術大学大学院美術研究科博士彫刻専攻修了。「キリンアワード2003」にて奨励賞、07年に京都府文化奨励賞、08年に「六本木クロッシング2007」で審査員特別賞を受賞。個展、グループ展も精力的に行なう。09年、東京のメゾンエルメスにて「L.B.S」展を開催。インターネットで収集した動物の剥製やオブジェをガラス・ビーズやプリズム・シートで覆い、物質感を喪失させて新たなヴィジュアルに変換する独自の手法は、国内外のメディアから高い注目を集める。

### 【山下悟】

東京都生まれ。青山学院文学部史学科西洋美術史専攻。1990年に DD WAVE 株式会社を設立し、同社の代表取締役を務める。97年、雑誌『+81』を DD WAVE より創刊。以降、同誌のパブリッシャー兼クリエイティブ・ディレクターとして活動。2001年、『+81』にて NY ADC 賞 Merit Prize を受賞。創刊から12年を迎えた同誌は、世界的なクリエイティブ・マガジンとして、海外の約20カ国で流通している。

取材お申し込み：取材のお申し込みは、担当：塩原／ジャウエットまで Eメールにて (kshiobara@japansociety.org / sjowett@japansociety.org )ご連絡下さい。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦下さい。

JS 講演会プログラムは The Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund, Chris A. Wachenheim, The Sandy Heck Lecture Fund, コンチネンタル航空、日本航空のご支援により提供されています。

### JS について

JS は、1907年(明治40年)にニューヨークに設立された米国の民間非営利団体です。全米唯一の規模を誇る日米交流団体として、100年間に渡って両国間の相互理解と友好関係を促進するため、多岐に渡る活動を続け2007年に創立100周年を迎えました。その活動範囲は、政治・経済、芸術・文化、日本語教育など幅広い分野にまたがる各種事業や人物交流などを通じて、グローバルな視点から日本理解を促すと同時に、日米関係を深く考察する機会を提供しています。今日、JS は日米の個人・法人会員をはじめ、政財界のリーダー、アーティスト、教育関係者、学生など様々な参加者を対象に年間100件以上のプログラムを提供しています。1907年の創立以来、JS が企画・開催した展覧会、舞台公演、映画上映会、講演、試食・試飲会、シンポジウム、国際会議、セミナー、ワークショップは数千件のほります。

\*\*\*